
1 9 9 5 1 1 7

暁 京

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1995 1 17

【Nコード】

N2142A

【作者名】

暁 京

【あらすじ】

阪神淡路大震災で、私はあなたを失った。一つ前に進むまでの、果てしなく長いプロセス

私にとってあなたは、光で水で酸素で睡眠で食物で心臓だった。
ひとつでも欠けては、生きていけない存在^{もの}。
なのに、あなたはなくなってしまった。

空腹になればお腹は鳴るし、
眠くなれば眠るし、
悲しければ泣くし、
幸せなら笑う。

自然のこと。
同じくらいあなたは私にとって当たり前だった。

手を伸ばせば握り返して、
目と目が合えばやわらかに微笑んで、
寂しい時は抱きしめあった。

神様。
私の半身をもぎとってそれでも私に生きろというのですか。
神様。
どうして私の大切なものばかり奪ってゆくのですか。

恋なんかじゃなかった。
愛なんかじゃなかった。
ただ私はあなたに会って、初めて大切という言葉の意味を知っ
た。

ごめんなさい。

私本当は知っていた。
あの日あなたを失った事。
幼すぎたなんて言い訳だ。
ただ、目隠しをしていただけ。

見えないように。
聞こえないように。
触れないように。

私の心に鍵をかけて、奥深くに沈めて隠そうとしてくれたお父さんお母さん。

ごめんなさい。

私本当は知ってしまっていた。
瓦礫の中で氷のように冷たくなって、あなたはうつろな目で私を見ていた。

そんな冷たい目で見ないと、その目からそらしてしまった。

ごめんなさい。

この罪は永遠に背負っていくから。
忘れたりしないから。
だからお願い。

この傷を癒さないで。
時を流さないで。
焼け付くような痛みの、決して消えることがないように。

昨日一緒に読んだはずの本は、燃えてしまった。

昨日一緒に覗き込んだはずの鏡は、粉々になってしまった。

昨日一緒に遊んだはずのあなたは、小さな箱に収まってしまった。

どうしてあなたはここにいないの。

どうして私じゃなくてあなたなの。

これがさだめと、言うのですか。

こんなにも冷たい、あなたの屍の上に生きると？

あれから十年という長い月日が経った。

かつて赤く染まった街並みは、いつのまにか穏やかに新しく。

かつて青いビニールシートで覆われた家々は、いつのまにか穏やかに新しく。

汚れた水は清らかに。

止まった電気は鮮やかに。

笑い声が戻った。

散り散りになっていた人々も帰って来た。

だけどその中に、あなたはいない。

もう、どこにも。

私はそれでも生きていた。

人は泣き続ける事は出来ないから。

涙の数だけあなたが帰って来る可能性が増えるなら、死ぬまでだ

って泣けるけど。

そうじゃないから。

永遠なんてどこにもない。

変わらないものなんて一つもない。

さよなら

なんて言えない。

そんな事を言えば、もう一度認めてしまう。

ごめんなさい。

もう少しだけ。

後もう少しだけ。

あなたの夢を腕に抱かせて。

きつといつか、ちゃんと目隠しを外すから。

自分の目で、時の止まってしまったあなたを認めるから。

（後書き）

詩のような稚拙な文章を、読んで下さってありがとうございます。
震災で亡くした祖母と幼馴染に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2142a/>

1995 1 17

2010年11月13日02時46分発行